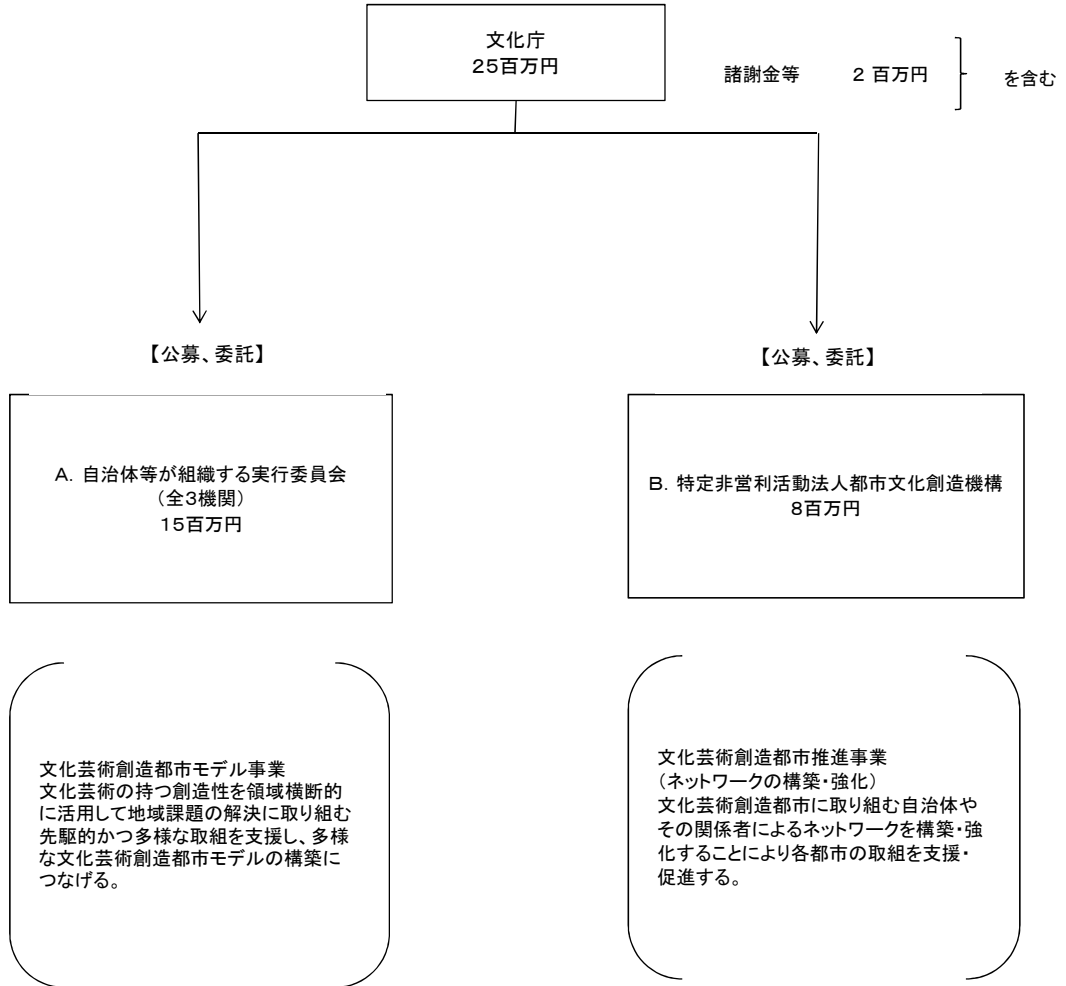


平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	文化芸術創造都市の推進	担当部局庁	文化庁	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～終了年度未定	担当課室	長官官房政策課	清水 明				
会計区分	一般会計	政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-4 文化芸術振興のための基盤の充実					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	文化芸術振興基本法 第7条	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定) 文化発信戦略に関する懇談会報告書					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用して地域課題の解決に取り組む先駆的かつ多様な取組を支援し、我が国における多様な文化芸術創造都市モデルの構築につなげる。また、文化芸術創造都市に取り組む自治体やその関係者によるネットワークを構築・強化することにより各都市の取組を支援・促進する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	文化芸術創造都市モデル事業では、自治体、文化ボランティアやアートNPO等の市民団体等により組織する実行委員会に委託することにより、当該実行委員会が作成する実施計画に沿った事業(文化芸術の持つ創造性を領域横断的に活用して地域課題の解決に取り組むもの)を実施し、多様な文化芸術創造都市モデルを構築する。ネットワークの構築・強化では、シンクタンク等の団体に委託することにより、文化芸術創造都市に関する情報の収集・提供、セミナー・研修の開催等を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	34	35	34	11	34	
		補正予算	-	-	△ 0	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	34	35	34	11	34	
		執行額	33	34	25	-	-	
	執行率 (%)	97.8%	97.8%	72.3%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	創造都市ネットワーク会議等への参加自治体数		成果実績		21	32	23	40 (23年度までの目標値は30)
			達成度	%	70	107	58	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	文化芸術創造都市モデルの構築及びネットワークの構築・強化のために行う事業の箇所数		活動実績 (当初見込み)	箇所	7 (7)	6 (7)	4 (6)	- (1)
単位当たりコスト	5.8(百万円/箇所)		算出根拠	執行額/箇所数=23百万円/4箇所				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.2 百万円	0.3 百万円	モデル事業の成果や構築されたネットワークを、文化芸術創造都市を目指す自治体等がより一層有効に生かすことが出来るように、民間団体等による国内拠点形成のための調査研究等を実施するため。				
	職員旅費	0.3 百万円	0.3 百万円					
	委員等旅費	0.1 百万円	0.1 百万円					
	文化芸術振興委託費	10 百万円	34 百万円					
計	11 百万円	34 百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	「文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針)」(平成23年2月8日閣議決定)の重点戦略において、「文化芸術創造都市の取組など新たな創造拠点の形成を支援する」とされており、国が実施すべきであり、かつ、優先度の高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—	企画競争による委託先の選定を行うことで競争性を確保している。支出費目については、委託実施要項に定め、事業実施に必要なものに限定することで効率性を確保している。なお、文化芸術創造都市モデル事業については、当初5箇所で行うことを想定していたが、3箇所での事業展開となった結果、不用率が大きくなった。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	文化芸術創造都市ネットワークの構築・強化では、創造都市ネットワーク会議への参加自治体数が増え、想定以上の成果をあげている。また、創造都市間の連携を更に深めるため、平成25年1月には「文化芸術創造都市ネットワーク日本」が設立された。また、文化芸術創造都市モデル事業では、委託先の都市が文化庁長官表彰を受賞するなどの成果をあげている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	文化芸術創造都市に関するネットワークの構築・強化については、公募による委託先の選定を行うこと等により競争性や効率性を確保しつつ取組が行われた。今後も各都市の取組を支援・促進するために、ネットワーク組織への引き続きの支援等が必要である。また、文化芸術創造都市モデル事業の成果については、上記ネットワーク組織と連携するなどし、今後より一層、文化芸術創造都市を目指す地域等へ、好事例として周知することが望ましい。					
	外部有識者の所見					
本事業においては、文化芸術の持つ創造性を活用した地域課題の解決や地域の活性化等、文化芸術創造都市のモデル構築について一定の成果が上がっていると認められる。また、文化芸術創造都市に関する情報の収集・提供、セミナー・研修の開催等を通じて、ネットワークの構築・強化が図られることで、今後の文化芸術創造都市の推進に寄与したと認められる。今後は、モデル事業の成果や構築されたネットワークを、文化芸術創造都市を目指す自治体等がより一層有効に生かすことが出来るように努めるべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業内容の改善	1. 事業評価の観点: 本事業は、多様な文化芸術創造都市モデルの構築や文化芸術創造都市ネットワークの充実・強化等に関する委託事業であり、予算執行状況の観点から検証を行った。 2. 所見: 本事業は平成24年度決算において不用額が生じているが、平成25年度当初予算で重点化等の見直しを行っているところ、今後も積算の不断の見直しを通じてコスト縮減に努めるべきである。また、事業の効果をより高め、今後の展開につなげる観点から、国や地域の各種事業との一層の連携・活用等を図り、かつ、その測定を可能とする指標設定を検討すべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	今年1月に発足した、国内における文化芸術創造都市のネットワーク組織である「創造都市ネットワーク日本(CCNJ)」には、平成25年8月現在で24自治体の自治体及び複数の民間団体が加盟している。これらのネットワーク組織への支援を一層強化することにより、行政事業レビュー推進チームによる指摘である、地域との一層の連携を図っていく予定である。また、各自治体が主体的・自立的に文化芸術創造都市を推進していくため、本事業を通じた様々な研修やセミナーを通じ、各関連事業の周知・活用を果たしていく所存である。一方で一層の効率的な事業執行に努めるため、首長会合及び創造農村ワークショップの開催都市数の削減やそれに伴う交通費の削減により▲1百万円の引き下げ等、縮減に努めている。今後も積算の不断の見直しを通じてコスト縮減に努めていく。					
備考						
文化芸術創造都市推進事業 http://www.bunka.go.jp/ima/souzou_toshi/suishinjigyo.html						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0491	平成23年	0416	平成24年	0439

※平成24年度実績を記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	広報費(パンフレット、チラシ作成等)等	2			
人件費	事業の実施に関するもの。	1			
その他	外部有識者謝金、旅費等	2			
計		5	計		0
B.特定非営利活動法人都市文化創造機構			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	事業の実施に関するもの。	3			
その他	外部有識者謝金、会議等旅費等	4			
再委託費	政策セミナー運営補助	1			
一般管理費		0.2			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	「文化芸術創造都市モデル事業」仙北実行委員会	豊かな文化・観光資源を活かした交流人口のさらなる増加、文化芸術に携わる雇用の創出を企図した「田園型・創造都市(創造農村)」づくりを目指す。	5	企画競争	—
2	鶴岡食文化創造都市推進協議会	食文化を活用し、地域コミュニティの構築、健康福祉社会の形成、子どもたちが健やかに成長する環境づくり、持続的な農業振興、交流人口の拡大など、地方都市を文化で再生する課題解決モデルを創出する。	5	企画競争	—
3	別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」実行委員会	「観光地型・文化芸術創造都市」としての新しい別府を世界に発信していくとともに、市民全体での「文化芸術創造都市」実現を目指し、市民の参加意識醸成に向けた取組を行う。	5	企画競争	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	特定非営利活動法人都市文化創造機構	創造都市間におけるネットワーク機能の構築に向けて、意欲的な自治体に対し情報提供・人材育成支援を行うとともに、全国ブロック別会議等により情報収集・意見集約を図る。	8	企画競争	—